

平成26年度 事業活動報告書



社会福祉法人 東松島福社会

1、法人本部

①概況報告

平成26年度は、法人として3つ目の拠点となった「特別養護老人ホームせせらぎの里」も2年目の運営となりました。法人本部としても、法人内の3拠点がより安定的で継続的な運営がなされるよう人事体制及び運営体制の見直しを行ってきました。

しかし、人材の確保・育成については、まだ課題も残っており、今後も重点施策に掲げながら対応していくことが必要となっております。特に富谷町の「成田の里」「せせらぎの里」については、CS（入居者様及びご家族の満足）のみならず、ES（働く職員の満足）の向上に向けて体制整備を行ってきました。現在、少しずつではありますが入居者様のご利用や職員体制も安定した状況に向かっており、今後もさらなるサービスの質の向上、及び職場環境改善に向けて取り組んでまいりたいと思います。

会計面においても新会計基準への転換から2年目を迎え、より基準に沿った整理がなされ、これまで以上に各拠点・各事業の実態及び課題が見えやすくなりました。それによって、各課題に対して迅速に対応策を検討することが可能となり、今後活かせる素地が築かれた1年となりました。また、平成26年度も会計事務所による四半期ごとの監査によって、より正確性の高い経理・会計の内容に整理されてきたとも言えるのではないのでしょうか。

そして、平成26年8月には、社会福祉法人指導監査が実施されました。そこでも宮城県より運営及び会計状況について概ね良好であるとの意見をいただきました。法人としては、その結果に甘んじることなく今後ともコンプライアンスを意識した組織運営を行ってまいります。

設備等では、修繕費の計上が続いていた特別養護老人ホームやもと赤井の里の冷暖房設備をガス式から電気式の省エネの設備に改修致しました。様々な検討を重ねた結果、現状の設備を再利用することで導入コストを抑え、改修を実施することができました。それによって入居者様からも喜びの声が挙がっております。また、ランニングコストにおいても、以前よりも削減効果が出ており、設備導入による効果が見えております。

最後に、平成27年度は介護報酬改定によって、法人運営も今までにないほどの影響を受けることは間違いありません。さらには最も影響のある小規模型通所介護の今後の在り方や特別養護老人ホームを主体とした各拠点の運営について、今一度、これまでの取り組みの中で加算評価を頂ける内容はないか、また職員体制においても同様に該当する状況はないか、既成概念に捉われることなく常々点検を実施していかなければなりません。それによって、さらなるサービスの質の向上、地域への貢献、事業所運営の安定化と継続を実現していきたいと思っております。

②理事会の開催

- ・第1回理事会 平成26年 5月17日開催
- ・第2回理事会 平成26年 9月 6日開催
- ・第3回理事会 平成26年 9月27日開催
- ・第4回理事会 平成26年11月15日開催
- ・第5回理事会 平成26年12月14日開催
- ・第6回理事会 平成27年 3月14日開催

③評議員会の開催

- ・第1回評議員会 平成26年 5月17日開催
- ・第2回評議員会 平成26年 9月 6日開催
- ・第3回評議員会 平成26年11月15日開催
- ・第4回評議員会 平成27年 3月14日開催

④監事監査の実施

- ・監事監査（内部監査） 平成26年 4月29日実施
平成26年 5月 9日実施

⑤会計事務所による会計精査の実施（平成26年度分）

- 第1 四半期分 平成26年 7月25日実施
- 第2 四半期分 平成26年10月21日実施
- 第3 四半期分 平成27年 1月23日実施
- 第4 四半期分 平成27年 4月23日実施

⑥法人運営会議

- 第1回 平成26年 4月28日開催
- 第2回 平成26年10月17日開催
- 第3回 平成27年 2月26日開催

⑦職員配置状況（法人本部）

- 法人本部事務局長 1名（法人理事兼務）
- 法人本部事務局次長 2名（総合施設長兼務）
（やもと赤井の里施設長兼務）
- 法人事務局員 2名（やもと赤井の里事務局員兼務）

2、やもと赤井の里 事業報告(概況)

①概況報告

【特別養護老人ホーム、短期入所生活介護】

超過していた入居定員もいよいよ通常の状態に戻り、入居者様の新規受け入れも再開しました。また、同時に施設での看取りを希望される方々も増加しており、今まで以上に他職種連携が必要となった1年でもありました。

行事や活動においては、リハビリ委員会が中心となり、運動会や夏祭り、文化祭、餅つき、節分行事など多数の活動を企画、運営してきました。それによって、入居者様の日々の生活の中においてリハビリや活動することへの動機付けにもつながったのではないかと感じています。

特に文化祭では、特別養護老人ホームのみならず、各在宅サービスを利用される方々から多くの出展をいただきました。その際には、賞を送らせていただき、参加いただいた皆さんからも喜びの声をいただくことが出来ました。

さらに平成26年度は長期入居者様が個別で自宅に一時帰宅することをお手伝いしたり、外出の際にご家族に参加いただいたり、ご家族の皆様と事業所が協力して進めていく取り組みが積み重ねられてきています。今後もカンファレンスや活動などに積極的に参加いただけるよう継続的に働きかけていきます。

また、今後改善していくべきとしては、リスクマネジメントへの取り組みが挙げられます。平成26年度は転倒事故などが相次ぎ、その都度、事故対策会議によって対応策を検討していかねばならないことが多くありました。

それでも、リスクマネジメント委員会において、職員にどのような意識付けをしていく必要があるのか検証を進めることが出来ておりますので、それを平成27年度につなげていきたいと思えます。

最後に研修体制及び新人育成の体制整備ですが、本年度は初めて新人教育に介護実習方式の育成方法を取り入れました。それによって、定期的なカンファレンスを行い、気付くことの大切さや介護することの喜びを共有する機会を増やしました。結果、これまで以上に新人職員が介護することの楽しみを発見することにつながったのではないかと確信しておりますし、新人職員自身からもそのような声を聞くことが出来ました。

全職員に対する研修では月に1～2回の定期研修のみならず、多くの職員に外部研修にも参加してもらうことが出来ました。また、平成26年度は職員研修の一環として松島にある特別養護老人ホーム松島長松苑様と交換研修を実施させていただくことも出来ました。それによって、自施設での経験しかない職員が様々な視点を学ぶことができ、今後につながる経験を積むことが出来ました。平成27年度も引き続き、人材育成に重点を置きながら、介護の質の向上及び介護の楽しみを発見できるような取り組みを積み重ねていきます。

【デイサービスセンター】

はじめに利用者様の状況では、上半期に多くの方々にご利用いただき、稼働率も順調に推移しましたが、下半期は体調不良や入院などによって、稼働状況が低下しました。

しかし、それでも事業計画で掲げていた個別ケアを推進すべく、ニーズの聞き取りを行いながら、活動内容や外出先の決定を行いました。

また、利用者様が今まで以上に通いやすいデイサービスを作っていくためには、職員間のコミュニケーションや連携が欠かせないため、デイサービス会議でも様々な手法を用いて意識統一を図りました。

さらに本年度は、特別養護老人ホームから看護職員が異動したことにより、デイサービスと特別養護老人ホームでの相談、協力体制の強化を図りました。それによって、平成27年度も重度の利用者様に対応できる体制作りを目指していきます。

【ヘルパーステーション】

昨年の課題となっていた職員の人材確保ですが、平成26年度は異動も含め、常勤職員を2名、登録ヘルパーを1名（いずれも介護福祉士資格取得者）確保することが出来ました。

しかし、産休となる職員もいたため、サービス提供回数は平成25年度と同水準での推移となりました。

職員の育成においては、業務日誌を活用しながらの同行訪問による育成となりました。しかし、訪問介護は、介護技術のみならず、どの利用者様からも受け入れられるコミュニケーション能力と気づき、配慮が求められます。そのため、今後はそこに学びの重点を置きながらの育成に努め、より多くの方々にご利用いただき、地域に貢献していくことが出来る事業所を目指していきます。

【居宅介護支援事業所】

平成26年度は、各ケアマネジャーとも担当できる基準の上限に近い状況で推移しました。そのため、より多くのニーズに応えるべく、新たに1名のケアマネジャーを増員しました。

しかし、諸事情により、管理者が一時的に交代することとなったため、担当している利用者様の人数については、職員増員後も同水準で推移しています。

研修等については、各職員の経験年数に合わせた研修のみならず、地域のケアマネネットワーク主催の研修にも参加し、自己研鑽に努めました。

また、ケアマネジャーについては個別で活動する職種ですが、平成26年度は今まで以上に事業所内での情報交換に努め、互いにフォローする体制を作ることに努めました。今後も情報交換を欠かすことなく実施し、担当する利用者様が不安なく当事業所を利用することが出来る環境により近づけていきたいと思っております。

②長期入居者の要介護度区分（平成27年3月31日現在）

要介護1：3名 要介護2：4名 要介護3：9名
 要介護4：7名 要介護5：7名 ※平均要介護度：3.4

③地域参加・交流について

平成26年 5月31日 南二区役員会へ出席
 平成26年 6月15日 地域の防災訓練への参加
 平成26年 7月13日 とっておきの音楽祭を見学
 平成26年 9月13日 地域の方々と合同敬老会を開催（施設ホールにて）
 平成26年 9月25日 近隣の自主防災会の方々に参加いただき、避難訓練、炊き出し訓練を行った後に意見交換会を開催
 平成26年10月12日 自治会の秋祭りに参加し、ステージ披露
 平成26年10月18日 東松島市社協主催のスポーツ大会に参加
 平成26年11月23日 南二区役員会へ出席
 平成27年 3月28日 南二区役員会へ出席

④職員の配置状況 *（ ）は臨時・パート職員内数

平成27年3月31日現在

事業所	施設長(管理者)	嘱託医(非常勤)	生活相談員	介護相談員	介護支援専門員	サービス提供者 責任者	機能訓練指導員	管理栄養士	介護職員	看護職員	調理職員	事務職員	宿直職員
特別養護老人ホーム	1	1	2	1	1		1	1	35 (7)	4 (1)	5 (2)	3 (1)	1 (1)
通所介護事業			2						6 (3)	2 (1)			
訪問介護事業						1			7 (6)				
居宅介護支援事業	1				3								

※1 通所介護、訪問介護の管理者は特別養護老人ホームの施設長が兼務

※2 通所介護の生活相談員1名は介護職員と兼務

※3 居宅介護支援事業所の管理者は介護支援専門員を兼務

※4 事務職員2名は法人本部事務局員と兼務

※5 産休・育休取得中 3名

⑤内部研修及び勉強会等の実施状況

平成26年	4月 2日	法人理念研修及び事業計画説明会
	4月12日	倫理・法令遵守・接遇マナー研修会（外部講師）
	4月11日	排泄ケア研修会（メーカー協力）
	5月10日	個人情報保護とプライバシーについて（外部講師）
	6月 4日	食中毒予防講座（保健所出前講座）
	6月26日	医療にかかわる研修会（緊急時対応）について
	7月 2日	陰部洗浄について（メーカー協力）
	7月23日	ユニットケアについての研修会
	8月22日	リスクマネジメント研修
	9月19日	手洗いと嘔吐物処理についての研修①
	9月26日	手洗いと嘔吐物処理についての研修②
	10月17日	認知症介護について①
	10月24日	認知症介護について②
	12月 3日	身体拘束廃止・高齢者虐待防止についての研修
	12月12日	看取りケアについて
平成27年	2月10日	リスクマネジメント研修
	2月13日	防災設備に関する研修（メーカー協力）
	3月17日	入職2年目職員研修
	3月20日	第6回事例活動報告会
	3月26日	救命救急講習（矢本消防署協力）
	3月30日	入職3年目職員研修
	3月18日	平成27年度新規入職職員研修
	～27日	

⑥施設間交流事業

- 研修先施設 特別養護老人ホーム 松島長松苑
- 交換研修日程 平成27年1月19日～20日、1月26日～27日
2月16日～17日、2月23日～24日
- 研修参加者 計8名 研修受け入れ者 計4名

3、成田の里 事業報告(概況)

①概況報告

【特別養護老人ホーム、短期入所生活介護】

開設4年目を迎え、新人として入職した職員達のスキルも向上し、指示的なものではなく自発的な支援内容や計画、行事等の取り組みがみられた1年でした。最も顕著な例が「夏祭り」で、実行委員長を先頭に施設職員はもちろんの事、家族、ボランティア、地域の子供会等を巻き込んで盛大な行事を行うことが出来ました。

また昨年4月より、2ヵ月に1回の運営推進会議を行い成田、鷹乃杜地区の民生委員とのつながりも出来、職員と同等の役目も担っていただきました。

夏祭りの内容もひとつひとつ地域との関わりのなかで培ってきたものを飾りつけ、地域子供会行事の一環として和紙風船を創ったり、造形教室で作成したランプシェードも展示するなど入居者様と子供達の交流の機会を持つことで反映されていったものでした。

それに加え、定期的な地域ボランティアとして富谷高校 JRC、東向陽台小学校金管バンド、傾聴ボランティア、絵手紙教室など様々な外部からの風を入れ、そして施設建物南側に畑を作り野菜、スイカ等を共に育て、共に収穫の喜びを分かちあうことで、思いがけない表情や若い頃にもどった手作業等を垣間見ることができました。

また研修についても自分たちで考え行動する力を大事にし、リスクマネジメントの胃瘻抜去事故の検証でメーカーから資料を取り寄せ胃瘻の仕組みを学び改めて確認できたこと、新規ショート利用者対応で医療的分野の不明な点については自から学び皆に伝達する方法を考え、その利用者が安心して安全な生活を過ごすには何が必要とされるのかを介護現場に活かすことができました。

外部研修については認知症研修やユニット研修の参加者から伝達研修を受け、対応方法や視点の変化が見られたり、それ以外の外部研修でも意識の変化が顕れ、また自分のスキルとしての資格取得を目指す自己研鑽の意識が高まったと思います。

昨年度は情報公表の審査も受け、今までの取り組みが審査結果として高く評価された1年となりました。

それらの職員意識の向上が入居者様の生活対応に結びつき、共に生活するなかで、常に疑問を持つことや自分の考えに固執せずに、他者の意見に耳を傾けるなど、他職種連携の最善策の支援を考え行えるようになりました。

次年度に向け、さらに個々人の特性を生かし、職員として入居者様との関わりの中で面白みを感じ、気付き、見極める力を養うことが、入居者様の生活満足につながることを体得できるような指導、育成、研修の機会を継続実施していきます。

【居宅介護支援事業所】

2人体制の居宅介護支援事業所として、過去1年間の実績から、遅々として数字にはなかなか及ばず富谷、黒川地域のみならず仙台圏にも営業活動を行いました。ようやく下半期頃から徐々に件数も増えてきました。

高齢化率の低い富谷町が主体ではありますが病院、地域包括等からの紹介によりコミュニティが出来てきたこと、また地道な活動が広がって来たことが要因と考えます。

困難ケースも多く家族対応や、他事業所との調整等休日返上で取り組んできたことへの評価でもあり、地域貢献できる居宅介護支援事業所として活動を続けていきます。

②長期入居者の要介護度区分

要介護1： 1名 要介護2： 7名 要介護3： 4名
 要介護4： 9名 要介護5： 7名 ※平均要介護度：3.5

③職員の配置状況 * () は臨時・パート職員内数

平成27年3月31日現在

事業所	施設長	生活相談員	介護支援専門員	管理栄養士	介護職員	看護職員	事務職員	宿直職員
特別養護老人ホーム	1	1	1	1	15 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
短期入所生活介護					7 (1)	1		
居宅介護支援事業			2					

④内部研修及び勉強会の実施状況

平成26年 4月21日	胃瘻(PEG)の仕組み
平成26年 5月12日、19日	ユニットケアと運営理念について
平成26年 6月16日、20日	食中毒の基本について
平成26年 7月14日	排泄ケア(王子ネピア)
平成26年 9月12日	移乗について(宮城県理学療法士会:榊先生)
平成26年 9月29日	個人情報と法令遵守
平成26年10月20日、24日	高齢者の摂取嚥下と食事介助の留意点
平成26年11月10日、14日	インフルエンザについて
平成26年12月26日	メンタル・タフネス研修
平成27年01月22日	ノロウィルス研修

平成26年02月13日、24日 認知症研修
平成26年02月16日、20日 リスクマネジメント研修
平成26年03月13日 認知症研修

⑤地域交流・世代間交流について

平成26年4月28日 民謡ボランティア
平成26年7月17日 富谷高校生徒とのおやつ作り※
平成26年7月29日 東向陽台小学校金管バンド演奏会※
平成26年8月17日 動物介在教育・療法学会による犬とのふれあい会※
平成26年8月17日 地区カルチャースクールによる子供との造形教室※
平成26年8月19日 成田第5ひまわり子ども会との工作教室※
平成26年8月20日 よさこいチームによるよさこい踊り※
平成26年8月21日 日本舞踊、子供舞踊※
平成26年9月03日 フラダンス愛好会による踊り鑑賞
平成26年9月07日 弦楽合奏団による演奏会（成田の里夏祭りにて）
平成26年9月08日 近隣託児所園児との交流※
平成26年9月18日 和太鼓、舞踊

※：子供さんとの交流

平成26年8月02日 成田町内会夏祭り 参加
平成26年9月13日 成田町内会敬老会 出席

<定期ボランティア>

傾聴ボランティア（第2、4火曜日）
絵手紙教室（第4水曜日）
化粧ボランティア（月1回）
大正琴（2月から第3火曜日）

4、せせらぎの里 事業報告(概況)

①概況報告

【特別養護老人ホーム、短期入所生活介護】

開設2年目の「特別養護老人ホーム せせらぎの里」は、初年度の反省点を踏まえ、利用者様のサービスの向上に努め、より安定した事業運営の展開を目指し、信頼と実績を築くべく努力してまいりました。

しかし、組織としての基本である報告・連絡・相談体制の強化と情報の共有や個人の考え方のブレをなくすための運営面のシステム化、ルール化、業務の効率化を十分に達成出来た1年とは言えませんでした

それでも行事や各種活動においては、地域民生委員の方々によるマンドリンの演奏やギターを奏でる軽音楽会の開催、または入居者様のご家族が企画したブリザードフラワー教室の開催等、地域やご家族と関わる機会を多く設け、せせらぎの里らしさを模索し、開かれた施設づくりを目指してきました。

招待をいただいた成田地区連合夏祭り、地区敬老会においては、入居者様、同行職員も含め多数参加させていただき、楽しいひと時を味わうことができました。施設の全体行事として初めて開催した「せせらぎの里・夏祭り」では、実行委員会を立ち上げ、地域やご家族を巻き込み、終始盛会に催すことが出来、せせらぎの里としての第一歩となりました。

一方、成田の里、せせらぎの里両施設における今後の医療体制の連携強化や早急に取り組むを必要とする看取り体制を速やかに整備するため、成田の里と嘱託医を一本化することにいたしました。

また、介護職員、看護職員等の人材確保のため、各種開催される就職フェアに参加する他、インターネット等を活用した募集を継続的に行いましたが、応募状況は新卒者、既卒者も大変厳しいものでありました。今後の人材確保策として、各種福祉系大学、専門学校等へ直接訪問し積極的なPR活動を実施していくと共に法人理念に基づいたCS・ESのあるべき姿を求め運営を進める等の異なる視点から、その確保策を追求していかなければならないと意を強くしております。

目まぐるしい社会情勢の変化を踏まえて、次年度は大幅な介護報酬改定に柔軟かつ的確に対応ができる運営体制の確立に取り組み、利用者様へ良質なサービスの提供ができる介護力の向上と質の高い職員の確保及び育成を図りながら、地域の支えとなれるように更なる努力を継続していきます。

⑤内部研修及び勉強会等の実施状況

平成26年	4月	4日	倫理・接遇マナー研修会
	4月	9日	事業計画説明会
	5月	19日	リスクマネジメント研修
	6月	3日	救急救命講習会（富谷消防分署協力）
		4日	〃 〃
	7月	11日	ユニットリーダー研修
	7月	18日	食中毒予防研修会（外部講師）
	7月	25日	〃 〃
	8月	1日	法人理念と法令遵守について研修会
	8月	4日	排泄ケア研修会（メーカー協力）
		26日	〃 〃
	9月	9日	苦情解決研修
	9月	19日	移乗、移動研修（メーカー協力）
	12月	4日	感染予防研修会（塩釜保健所 保健師 講師）
	12月	11日	総合研修会（認知症ケア・虐待防止）
	12月	15日	総合研修会（プライバシー保護・法令遵守）
平成27年	1月	9日	総合研修会（ユニットケア・個別ケア）
	3月	19日	平成27年度新入職員研修